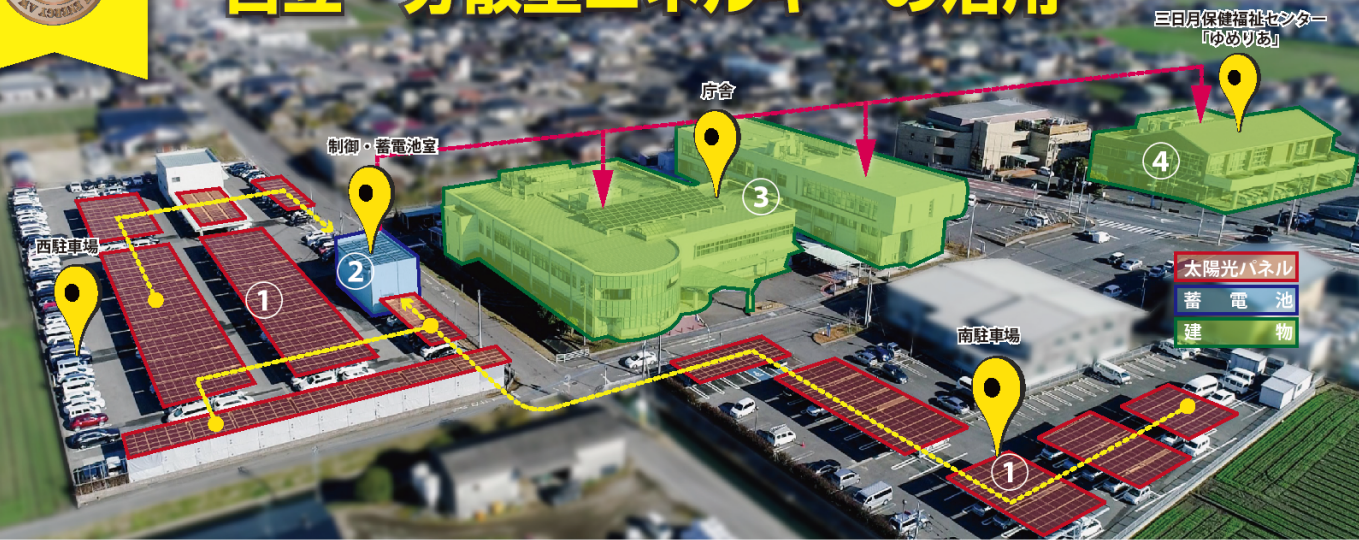




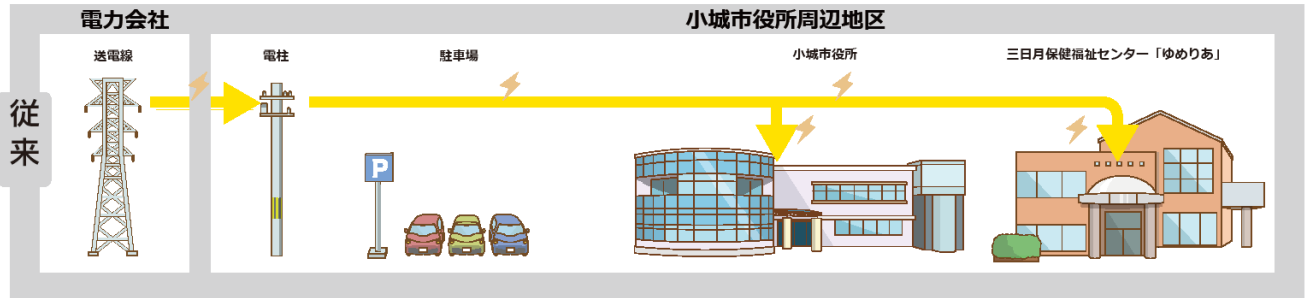
小城市庁舎等のオフグリッドによる 自立・分散型エネルギーの活用



分散型新エネルギー先進モデルの概要

佐賀県小城市では、災害時の業務継続性の向上など防災面の強化に加え、
平常時の温室効果ガス排出量抑制に寄与できる「分散型新エネルギー先進モデル」となる
「オフグリッド」システムを市庁舎に導入しました。

導入前後 比較イメージ



【事業内容】

- 事業の実施
- ①再生可能エネルギー出力制御システムである**ソーラーカーポート+鉛蓄電池+制御装置 (EMS+BEMS)** の導入
⇒ **オフグリッドシステム (電力会社からの電力に頼らない電力供給)** を実現
⇒ 災害時拠点として、業務継続性を 72 時間 (3 日間) 確保
 - ②**省エネ型空調設備及び LED 照明** の導入

